令和８年７月２日
東京海上保安部

東京都の皆さんへ

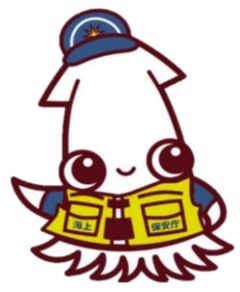
これから夏休みに入ると、海に行く機会が増えるかもしれません。
下記に紹介する事例や事故を防ぐにはどうすればいのかを確認してから海へ行き、安全にマリンレジャーを楽しんでください！

事故者（東京都在住、小学生）は、家族とともに夏休みに兵庫の海岸を訪れた。（遊泳禁止場所）両親がバーベキューの準備をしている間、姉（中学生）らと波打ち際で遊んでいたが、離岸流（りがんりゅう）により流されてしまった。父親が助けに向かったが、海水を誤嚥（ごえん）してしまったため一旦砂浜に戻った。その後砂浜にいた母親から通報がなされたもの。翌日約600m離れた海中で発見された。（死亡事故）

▲事故の原因▲

☑遊泳禁止場所で遊んでいた　☑波打ち際だからと救命胴衣（きゅうめいどうい）を着用していなかった
☑保護者の目が届かない場所で遊んでいた　☑海のこと（離岸流の存在）を知らなかった

海での事故を防ぐためには



◎遊ぶ前に天気予報をチェックし晴れた風の穏やかな日に遊びましょう！

◎サイズの合った救命胴衣を正しく着用しましょう！

◎子供から絶対に目を離さない様にしましょう！

◎監視員（かんしいん）がいる海水浴場で泳ぎましょう。

海の事件・事故は「１１８番」!!

～118番は海上保安庁が運用する海の緊急通報用電話番号（きんきゅうつうほうようでんわばんごう）です～

JCG

皆さん、「海上保安庁」をご存じですか？
海上保安庁は海の警察、消防、救急として、昼夜を問わず日本全国あるいは世界の海で皆さんの安全・安心を守っている組織です。

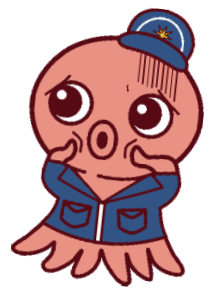
海上保安庁の仕事に興味があれば、見学等も受け付けていますので
東京海上保安部までお気軽にお問い合わせください。（Tel:03-5564-1118）

←「Water Safety Guide」
海で安全に遊ぶための
総合情報サイトです！要チェック！

←「Net118」
聴覚や発話に障がいのある方が利用できます。

事故発生状況は次へ！

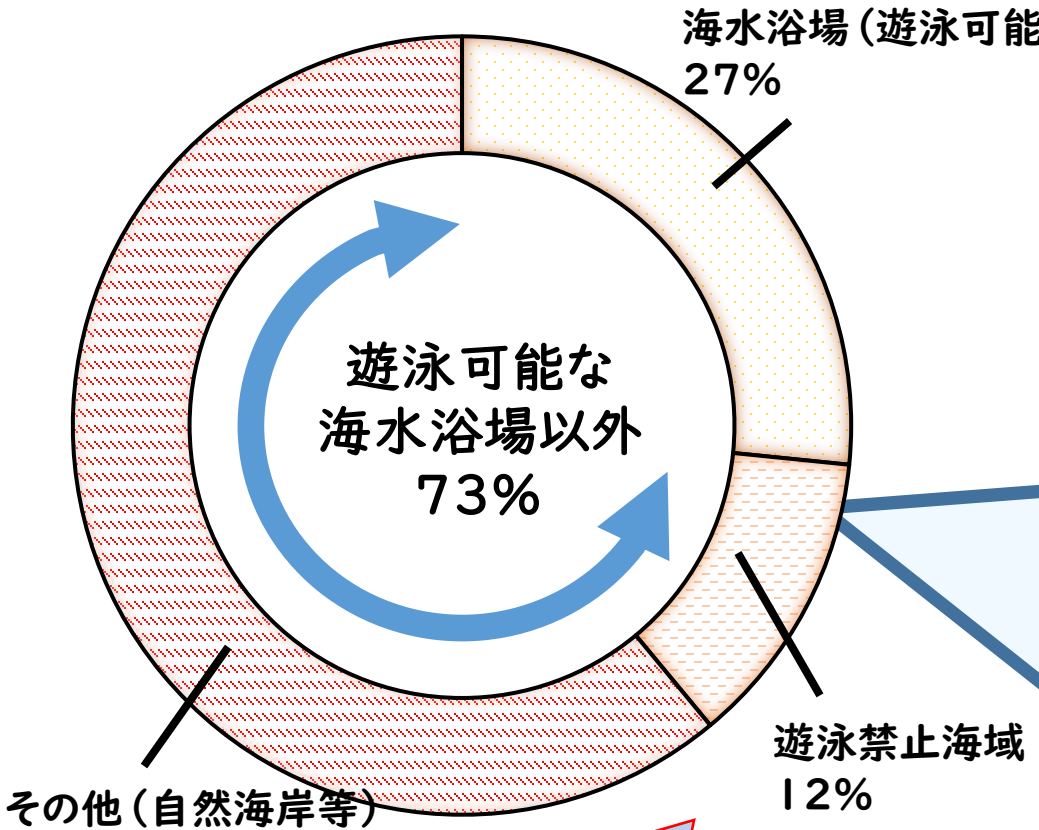
海の事故に注意



全国の海浜では、遊泳中の事故が多発しており、その多くは**夏休み期間中に発生しています!!**

過去5年間(2021年～2025年)における18歳以下の事故者は**567名**で、そのうち**52名**(9%)の方が亡くなっています。

遊泳場所別割合



海浜事故の７３％は「海水浴場以外」で発生しています！

監視員(かんしいん)がいる海水浴場で泳ぎましょう。

理由1)海水浴場は、ライフセーバー等の監視が行き届いており、万が一の時の救助体制が整っています。そのため、早期に事故が発見され、迅速な救助が実施されます。

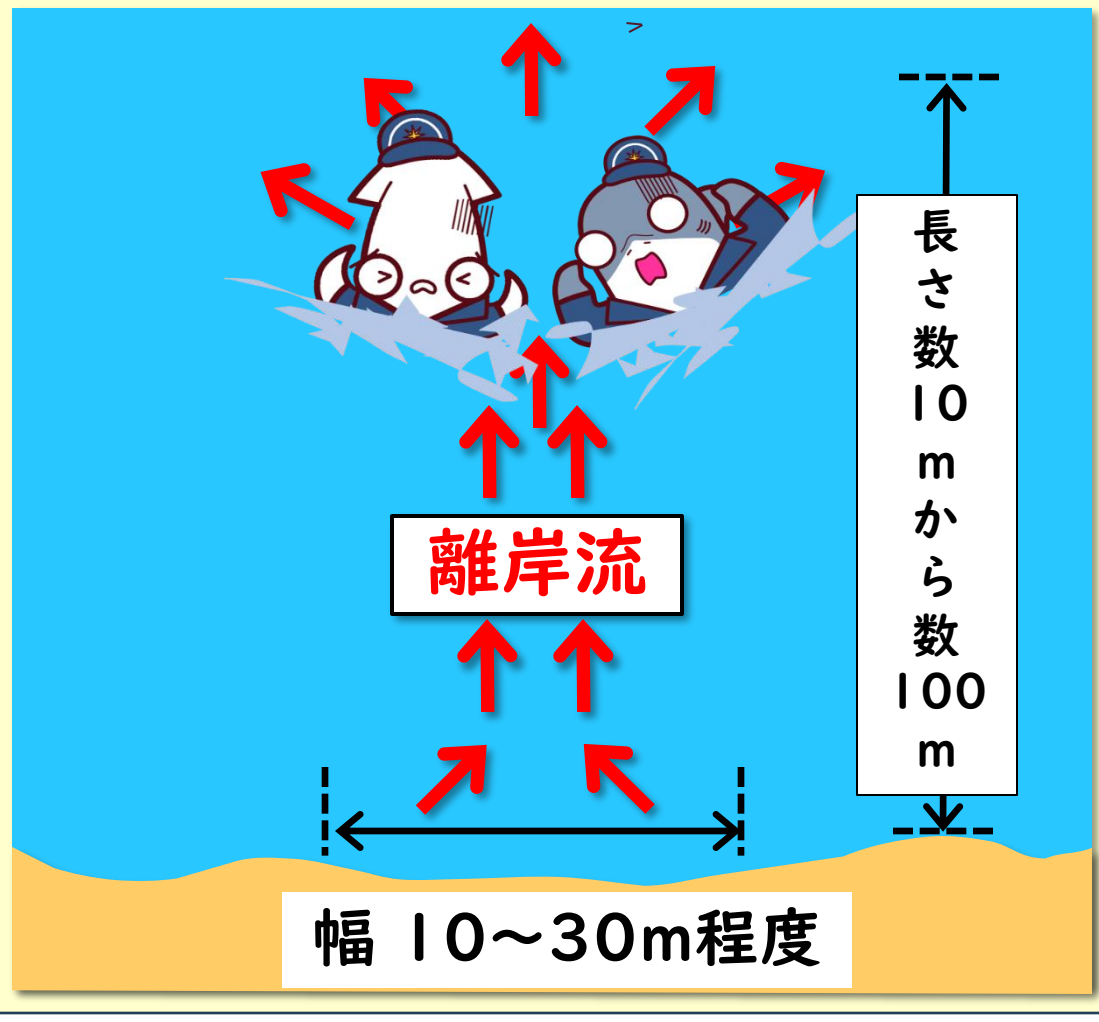
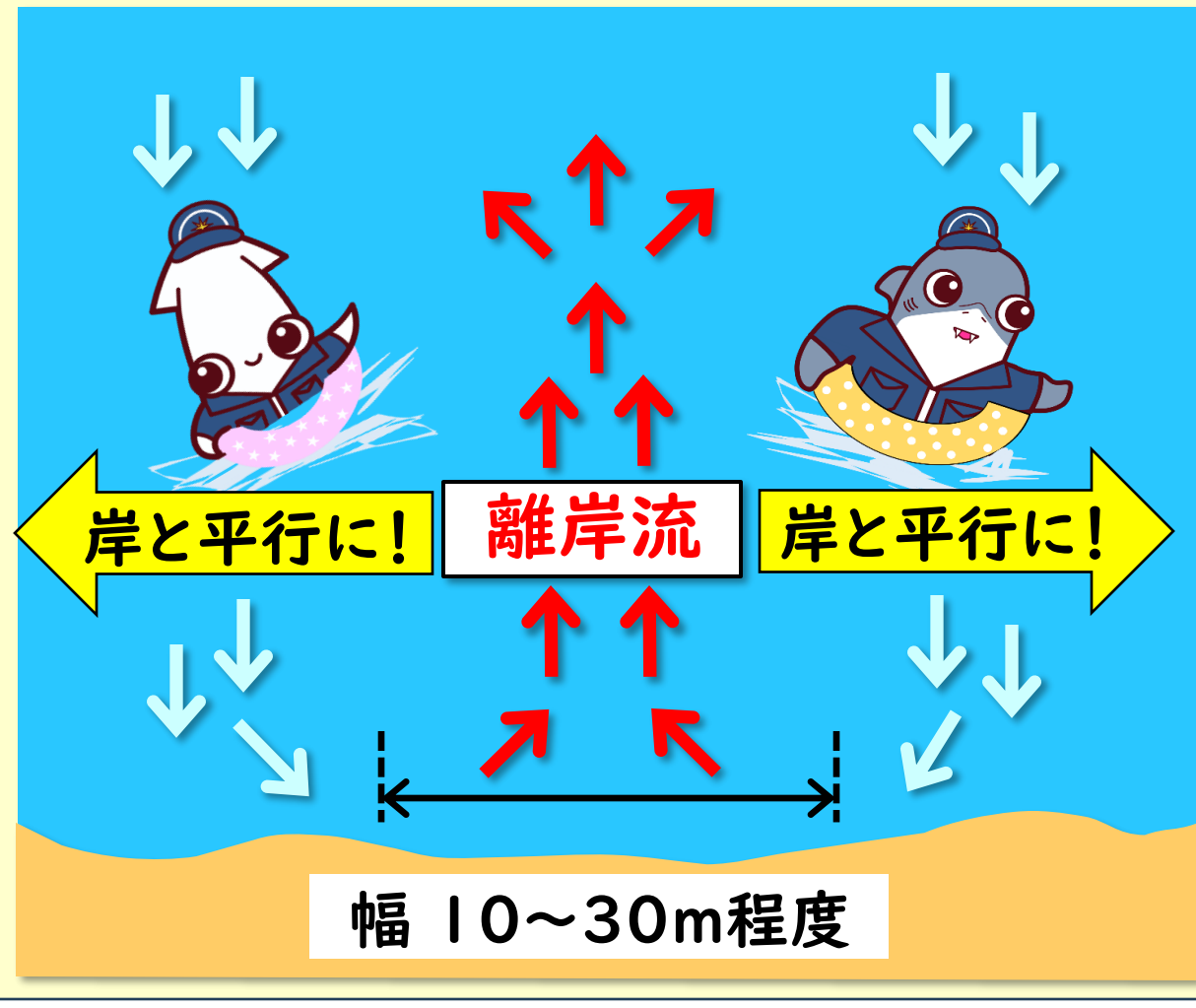
理由2)海水浴場は、安全に遊泳することができる遊泳区域がブイで定められています。

波が高い日は、泳いではいけません。

高い波や強い風の影響で、溺れたり沖合いに流される危険性が高くなります。

離岸流に注意

○海水浴場や海岸付近では、岸から沖に向かう流れが発生することがあり、これを「**離岸流**」と呼んでいます。

★離岸流に遭った時には...

1. まずは、落ち着く(**あわてない**)
2. **岸に向かって泳がない**
3. **海岸と平行に泳いで**脱出する
4. **脱出したら**海岸に向かって泳ぐ